

江北町

議会だより

No.155

令和2年
6月定例会

令和2(2020)年8月1日発行

こうほくこども食堂
全天候スポーツ広場にて

CONTENTS

- 町議会の仕事
- 新型コロナウイルス対応事業
- 一般質問
- 各常任委員会Q&A
- 委員会視察、条例改正
- 各委員の任命、選任
- 災害訓練、編集後記

町民とまちの“かけはし”を目指して

私たちの江北町を、快適で住み良いまちにするには、どうすればいいでしょうか。

それを決めるには、町民の話し合いで進めていくのが理想です。でも、町民みんなで集まって話し合うのは大変です。

そこで、18歳以上の江北町民が選挙をして、私たちの代表を選んで、話し合うことにしているのです。その代表者を「町議会議員」といいます。

その議員が集まって、江北町にしてほしいことを決めたり、江北町が行っていることが適切かどうか、話し合っ決めてところが「町議会」です。

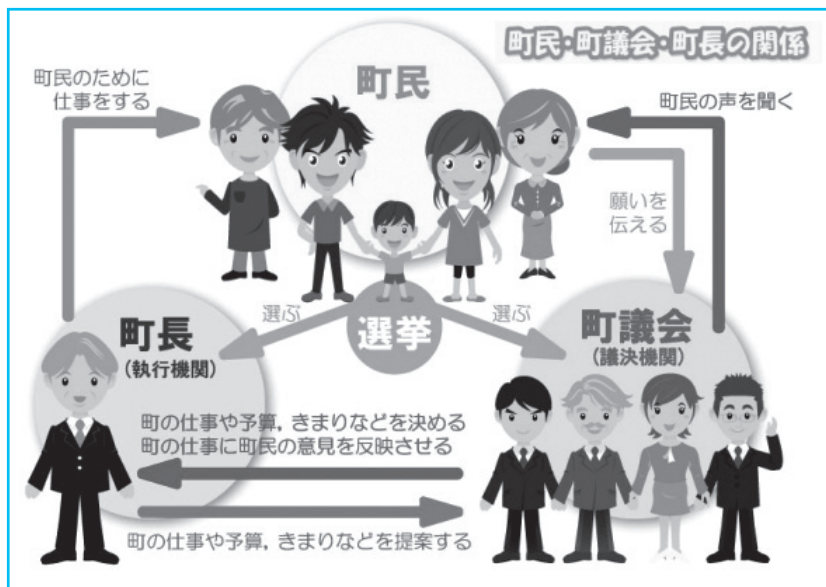
町議会の仕事

町議会の一般的な仕事は、町民の意思を反映させながら、町民の生活のいろいろな問題について話し合い、どう町政（町の仕事）を進めていくかを決めることです。

町議会議員

町議会議員になれる人は、25歳以上の町民です。町議会議員の選挙は、通常4年ごとに行われ、江北町では10名の議員が選ばれます。

《町民・町議会・町長の関係》



傍聴（ぼうちょう）

本会議はどなたでも傍聴することができます。本会議は通常9時に開きます。

議会放送

議員の一般質問の様子を、ケーブルワンで放送しています。

議会だより

年4回、定例会ごとに「議会だより」を発行して、町内の各家庭に配付しています。



江北町独自の新型コロナウイルス感染症支援策

I 感染拡大防止のための事業

① 町民の安全安心

(令和2年6月2日現在)

対象者	事業名	概要
小中学生 職員	全小中学生マスク配付事業	学校再開に向けて全小中学生に感染予防対策としてマスクを配付。
町民 職員	感染防止対策事業	窓口カウンター飛沫防止シートの設置、除菌水生成器、消毒液、マスクの購入。
町民	新型コロナ対応型避難所整備事業	避難所用パーティション、避難所用扇風機、段ボールベット、非接触型体温計の購入。

② 帰省自粛者の応援

町民関係者	「こうほくふるさと便」事業	新型コロナウイルスの影響により、帰省できない4親等以内の親族にマスク6枚とお米3合を送る支援。(1世帯3名まで)
-------	---------------	--

③ 新しい生活様式への取組

乳幼児	3密(密閉・密集・密接)回避事業	乳幼児健診の回数を増加し、1回あたりの受診者を減少させ、3密を回避。
町民 高齢者	筋力・活力・健康意識の向上事業	町民の健康保持・増進と健康意識向上のため、リーフレット等を配付し、フレイル予防の啓発。

II 事業継続応援のための事業

対象者	事業名	概要
事業者	江北型「店舗休業支援金」事業	県の休業要請に応じ、「休業」又は「営業時間の短縮」を実施した事業者に県の支援金までのつなぎ支援金として交付。
1号法人 農業所得者 給与所得者	江北町「元気復活応援金」事業	新型コロナウイルスの影響を受けている1号法人、営業所得者、農業所得者、給与所得者、事業者等の経営安定・生活安定を応援。

III 経済の回復に向けて取り組む事業

対象者	事業名	概要
町民 事業者 生産者	プレミアム付き「かえる商品券」事業	プレミアム分2,000円分+「江北町の逸品」3,000円分の進呈。打撃を受けている事業者や生産者の支援。町内の消費活動を促進。

IV 児童生徒の心のケアのための事業

対象者	事業名	概要
小中学生 保護者 職員	スクールカウンセラー相談体制強化事業	長期休校による児童生徒の心のケアのため、スクールカウンセラーによる相談体制のさらなる充実を図る。

菖蒲谷溜池への土砂の流入について



さかい まさたか
坂井正隆

議員

町長 そこは防災の観点からの対応ということについて検討させて頂きたい



議員 昨年の豪雨により、菖蒲谷溜池への土砂の流入があった。溜池の上流には産業廃棄物処理場があり流出したと思われる。去る2月3日、県民環境部の担当者、町環境課、地元、上小田土木委員会とで現地視察を行った。産業廃棄物処理場は必要な施設であると思う。今後梅雨期に入り、大雨と共に、急峻な谷間に土砂となつて下る恐れがある。災害の予見予知の観点から県、町、

事業者と共に協議し、対策をとっていただきたいが。

環境課長 2月5日に県、環境課、産廃業者とで現地視察、協議を行い、県は地元不安を与えないような改善策を講じる様指導があり、業者からは土砂が流入した水路の数か所に沈砂池を設け清掃を行う等の対策をする回答を得た。その後3カ所の沈砂池設置を確認した。

議員 沈砂池で土砂の食い止めが出来るのか。

環境課長 土砂流入の食い止めは厳しいが、水質は改善されると思う。
産業廃棄物処理業者と町の間で処理場の事業活動に伴う公害防止等を目的とした環境防止協定書を交わしている。協定書に基づき今後も指導をしていきたい。

町道門前西浦線について

議員 門前西浦線については3月通告後に90m施工をしてもらい、残りの新堤の野越のところまでの施工はどうなっているか。

建設課長 90mの区間については昨年の豪雨災害復旧工事で施工した。新堤野越までは町道の安全と維持管理を図るため早急に対応したい。

駅南2号線について

議員 江北バイパスが開通して21年、駅南側は目覚ましく発展を遂げてきた。そういう中、駅南2号線の交通量が大変増えている。拡幅の考えは。

建設課長 駅南2号線、交通量が多いことは認識している。拡幅は、地域住民の皆様の

意見を聞き、慎重な対応が必要と考えており、水路側への拡幅は考えていない。

町長 議員からは3月議会で通告をいただきたい

思う。

駅南2号線については警察と協議をしていて地域住民の皆さんのご理解が必要で、進入禁止の対応をさせて



交通量が多い駅南2号線

ており、今回一定の答弁をしている。菖蒲谷溜池は防災の観点から早急な対応が必要と

いただきたい。議会が終わり次第、地元の方にもその旨、まずご相談させて頂きたい。

三吉紀美子

議員



下水処理施設について

町長 維持管理上の問題は早急に対応の必要がある
新しい時代を展望する中で人口減少も含め下水処理全体について
将来的なビジョンが必要と思う

議員 臨鉱ポンプに
関しては、降雨対策、
生活上の問題から重要
視してきた面もあった
が、下水道問題に関し
ては生活に支障なく過
ごせていて気にかけて
ない面もあった。

下水処理施設の箇
所、設置年度及びそ
れぞれの機器の耐用年
数の把握ができていな
いので教えて欲しい。

環境課長 町内の下水
道は公共下水道と農
業集落排水の2つに分
かれている。公共下水
道では処理場1カ所、
中継ポンプ場2カ所、
マンホール26カ所、合
わせて29カ所ある。

農業集落排水では
終末処理場1カ所、
中継ポンプ2カ所、マ
ンホールポンプが2カ
所、合わせて5カ所が
稼働。

公共下水道は平成
8年度から整備。15年
3月供用開始。農業



集落排水は平成7年
度から整備開始。平
成11年10月供用開始。
耐用年数は機械施設
で15年～20年。電気
設備で10年～15年。

議員 下水という特殊
性から計画耐用年数に
達しない機器で大きな
破損、交換の発生は。
環境課長 何回か発生
したが町単独で、また
職員と維持管理業者
で対応してきた。

議員 原因を究明し、
改善しながら対応を。

町長 維持管理上の
問題は早急に対応の必

要がある。長期的展
望でいけば公共管理型
になると思うが合併浄
化槽の積極的な導入も
必要があると思う。

スポーツの町 づくりについて

議員 練習する場所が
なくて他町を借りたが
スムーズにいかず困っ
たとの話を耳にした。

施設利用状況は。施
設的に少ない数なのか。

こども教育課長 花山
球場の昨年度の利用
状況は全体で163件、
町内が39件、町外が
124件の内、佐賀ス
ピリッツさんが99件で
61%。平成19年にホー
ムグラウンドの使用協
定を結んでいる。今年
度は、年度初めに町内
団体の日程を調整して
使ってもらった配慮を
している。

議員 佐賀県元気な
高齢者野球連盟の存
在を知り心強く思っ

いる。町内でしっかり
したスポーツをやって
欲しい。

議員 中学校の野球部
が廃部になるかもの
話を聞いたが事実は。

町長 廃部にはならな
い。人数が足りなくて
も近隣の町の部活と合
同での実施も行われて
いる。これからは部活
の在り方も考えていく
必要があると思う。

スポーツの町だからこ
そ県にも提案していく。

環境保全対策に ついて

議員 平成30年12月
議会でマイバック検討
委員会の設置を質問し
たが、課長は考えてい
ないという答弁であつ
たが1年半の間、環
境保全について提案さ
れ、今定例議会にマイ
バック全世帯配分予算
を組んで頂いた。

環境課長 マイバック、
ノーレジ袋推進店24

店舗の変動はないが、
わが町は、県内佐賀
市、唐津市に続き3番
目に多い店舗数。

議員 当時考えていな
いと言われながら今議
会に出して頂き有難い。

町長 エコバックが日
常的にどれだけ利用さ
れるかが事業の成功の
指標。

災害避難所と 新型コロナウイルス 感染問題

議員 災害時、避難所
でのコロナ対策提示を。

総務課長 5月防災会
議開催。10カ所の避難
所、収容人数の見直し
で4分の1に変更。安
心できる避難所づくり
を考えていきたい。

議員 梅雨時期でも
寒い時期がある為、防
寒着等の防寒対策。

細菌洗浄水生成器
とは。

総務課長 消毒液を作
り学校、施設に配布。

池田和幸
議員



新型コロナウイルス対策、今後の支援は

町長 町独自で取り組む「元気復活応援金」の事業で、事業者、農業者、給与所得者への支援をする

議員 国は、感染拡大の影響を受けた個人や事業主のために支援策を始めたが、全国の各自治体でも各種の支援制度が出されている。国や県の給付から漏れた事業者等に対しての支援はできないのか。

産業課長 事業者、農業者、給与所得者の方へ町独自で取り組む「元気復活応援金」の事業を予算化した。

議員 江北型店舗休業支援金者に対しては、店を開けてもお客が少ない。テイクアウトの支援拡大はできないか。

産業課長 テイクアウト支援は、「持ちカエル!こっほくグルメだより」を作成しホームページや各戸配布で知らせた。支援は、国の小規模事業者持続化補助金や新事業スタート支援事業補助金の制度説明を行った。テイクアウトは今後の新しい

生活様式に対応した事業継続法の一つとなる。

議員 県産タマネギの価格下落で緊急需給調整事業が発動され、肥育素牛の購入資金等の手当てが必要であり、補助金で生産者への負担軽減はできないか。

産業課長 市場価格が低迷するなどの影響を受けた牛肉、花き、野菜等の生産者支援事業及び農業者にも持続化補助金が給付される。対象者を事業者、農業者、給与所得者とし、収入減の一部の負担軽減になると考えている。

議員 「元気復活応援金」事業は、今議会を待たず、議員への説明の後、専決処分となったが、申請が2週間後になった理由は。

町長 「元気復活応援金」は、国や県の各種制度を活用してなお不足した場合に支援をするもので、事前相談や

きちんとした情報を把握するための期間が必要であり、最短な期間だと理解している。

議員 こっほくふるさと便の募集者の実績は。

産業課長 1,801件の申請があり、1,752件の発送を終えている。休業支援金は申込者が44件、給付額が660万円。

議員 「元気復活応援金」の周知には、町からの声掛けが必要ではないかと思うが。

町長 この事業は、申請の方法も大変シンプルで、他の市町に比べても簡潔になっている。

岩屋住宅跡地利用の構想は

町長 現状のままの貸付けは可能である。知恵を出しあっていく

議員 岩屋住宅は、閉鎖して4年が経つ。現在の状況で、民間事

業者への売却の状況は。

政策課長 平成27年に取壊しを行い、数社かと下段を災害の残土置場として貸している。



岩屋住宅跡地の今後は

議員 公園や憩いの場等の考えは。

政策課長 公園等の設置は考えていない。

議員 町民が使用できるようなスポーツ広場等への貸し出しは。

政策課長 上区の方から、下段をランドゴルフ場に貸し出してほしいと相談があり、現状のままでの貸付けは可能だが、整備をすることは考えていないと答えている。

議員 ある程度の整備はできないか。

町長 知恵を出し合い、お互い何ができるのか考えていければと思う。

ふちがみまさあき
洲上正昭

議員



新型コロナウイルスに関する 対策について

産業課長 農業者の声を伺いながら、できるものがあれば取り組んでいきたい

議員 新型コロナウイルス感染症による農業関係者への影響が深刻になっている。特にインバウンド需要で下支えされていた和牛枝肉の価格が大幅に下落し、昨年の5月の同時期と比較すると、1頭当たり40万円以上の収入減となっている。

収穫期のタマネギも外食産業などの業務用需要が落ち込み競りにも掛けられない状況が出ている。また花きについてもイベントや卒業式など学校行事の中止や延期などで業務用需要が減少し、販売額の減少が非常に大きい。

この現状を踏まえ、該当する農家に町独自として支援すべきでは。

産業課長 市場価格が低落するなどの影響を受けた牛肉、花き、野菜などの生産者農家の支援は、「持続化給

付金」や町でも「元氣復活応援金事業」をしている。

5月22日国、県の園芸支援の説明会があり、花きは次期作支援として、2次補正で80万円が支援される。

タマネギについては、5月分を対象に青果用として出荷した場合、10アール当たり7万円、需給バランス確保のため出荷しなかった場合は、10アール当たり4万円を県が支援する。畜産についても、高額な損失が出ていることも承知している。

議員 営農継続を促す観点から減収を要件としない支援ができないか。

産業課長 農業者の声を伺いながら、できるものがあれば取り組んでいきたい。また、消費拡大になる手だてがあれば、考えながら取り組んでいきたい。

議員 指定避難所の収容で、県は避難者同士の距離を2メートル以上としているが、この基準を当町に当てはめると、避難所に何名収容できるか。

総務課長 計算では約600名になるが、世帯単位やパーティションを使用することにより、感染防止が図られ、約1,100人を収容することができると、今後は分散避難も考えていく必要がある。

議員 避難所での密閉、密集、密接となる可能性が高く、集団感染が発生する恐れがある。



高いと思うが、感染防止についてどのような対策を考えているか。

総務課長 避難所での受付で、避難所カードに名前と住所を記載、また、検温をし、発熱がある方は、別室を用意する。共同で使用する部分は消毒の徹底を行う。また、保健師を十分活用することにより、感染防止に努める。

議員 役場職員が感染した場合、人員減の体制で業務を継続できるように新型コロナウイルス業務継続計画（BCP）を策定すべきでは。

総務課長 現在、策定している新型インフルエンザ等対策業務計画で運用しているが、少し修正を加える必要がある。総務課と福祉課で連携を取りながら、新型コロナウイルスに対応した業務計画の作成を考えている。

**農業用ため池の
防災対策と町全体の
排水計画について**

議員 農業用ため池を含む、町全体の排水計画の進捗状況は。

総務課長 現在のところ計画はできていないが、早急に策定したい。

議員 県河川や町内の主要幹線水路の堆積土の調査を行い、必要があれば取り除いていただきたい。

建設課長 現在、古川については、県と協議をしている。また、町内の幹線水路については、調査をする。

**災害時における
水上バイクの
活用について**
議員 協議の結果はどうだったのか。
総務課長 現在、協議を行っている。早い段階で覚書を交わせるようにしたい。

マイクロバスの利用 ここからがスタート!!



石津圭太
議員

町長 町として責任を持って貸し出せる状況ではない

マイクロバスの 活用方法

議員 町外への練習試合、また県外への遠征はレンタカー、保護者の自家用車などを使用し移動している状況である。

町所有のマイクロバスが利用可能になれば、保護者の金銭的負担、肉体的負担も軽減できるのではないかと
思われる。

町所有のマイクロバスを町内の社会体育活動、中学校の部活動に貸し出しできないか。

総務課長 町のマイクロバスは、町が主催する事業、行事等を第一に優先している。

その他に関係団体については、町が使用する
とき以外で空いた時間に貸し出している状況。
総務課の方で検討した結果、貸し出しをした
場合の問題点として
事故の際の責任、多く

の子ども達を乗せて運転するので、運転手の精神的負担、特定の部活動やクラブへの利用の偏りが考えられる為貸し出しは現行どおりと
いうことをお願いする。
ただし、公式戦など、
町を代表して九州大会

や県大会に行かれる場合には、条件をつけて貸し出しはできる。
議員 マイクロバスの利用頻度は。
総務課長 令和元年度は、町内23回、県内46回、県外2回で年間71回の利用である。



江北町のマイクロバス

買い物弱者への 対策

議員 町内の商店街が衰退したことに伴い、過疎地域からの買い物弱者への負担、影響ともに深刻である。高齢者の外出頻度の低下、商店までの距離が遠くなることにより転倒事故のリスクが増大するなど問題点が多い。

これからの町としての考えを聞きたい。

町長 町内で事業を行っている方々にとっても町民の皆さんを対象にした事業展開を再構築していただくタイミングではと思う。

今回、新型コロナウイルスでお持ち帰りサービ

スとかには既に着手していただいているので町でも必要な支援をしないといけない。
町で仕組みを作り事業者に呼びかけることが必要。
今年度中に町内の助け合い、買い物、福祉的なものを含めた制度設計、仕組みづくりをしたい。



買い物に苦労する高齢者

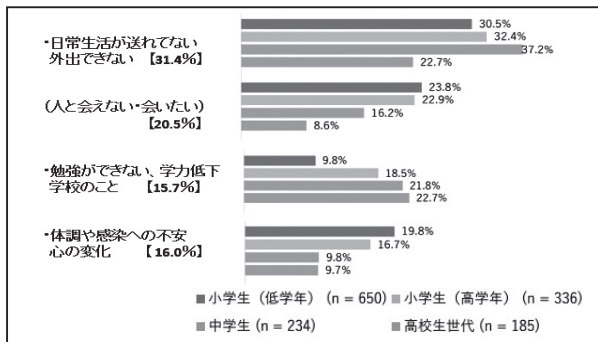
江頭義彦
えがしらよしひこ

議員



児童・生徒への支援体制の充実を

教育長 学校現場と共に子どもたちの教育に力を注ぎたい



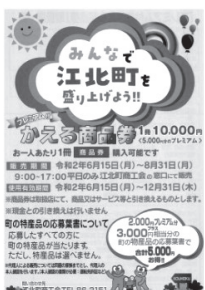
議員 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、学校は臨時休校となった。さらに全国に緊急事態宣言が発令されたことにより、臨時休校が長期化した。休校の期間が学年末から新年度の時期に及んだことから1年間のまとめを自宅学習で補うことの難しさや本来、四月当初におさえておくべき生活習慣の確立や学習習慣の定着等に時間が

不足した。学校は再開されたが感染防止のため、活動の制限は続いている。心のケアについて学校の取り組みは。 **こども教育課長** 臨時休校による生活習慣の乱れ、自粛に伴う閉塞感、学校再開に伴う不登校傾向にある児童・生徒の心のケアに相談員、スクールカウンセラーの来校日数を追加し、相談体制の充実を図っている。 **議員** 休校で遅れた学習のサポートは。 **こども教育課長** 夏季休業を短縮することで学習の遅れは取り戻せる。今までも学力向上に関わる事業として、小学校では、英語教育の専科指導員の配置。中学校では、数学、英語で中1の1・2非常勤講師の配置。中3で放課後等補充学習支援事業を数学、英語

で実施している。コロナ禍の中で必要であれば、昼休みや放課後等の時間を利用して個別指導の充実を図ってきたい。 **教育長** 新型コロナウイルスに **事業者への中・長期的な支援策は** **町長** 町としてしっかり伴走していきたい

かかわらず、平素から子どもたちの実態をしっかりと把握している。校長先生にお願いしている。学校現場と共に、子どもたちの教育に力を注ぎたい。 **町長** 今回の「プレミアム付きかえる商品券」の定期的な発行ができないか。 **町長** 今回の「プレミアム付きかえる商品券」は、一人10万円の特定期間給付金の支給に合わせて実施するもの

で、10万円のうち1万円は江北町の経済の活性化にご協力いただきたいという思いである。2千円分のプレミアムに加えて3千円分の町の特産品をお送りする。1万人分を用意しており、販売状況を次の一手の参考にしたい。 **議員** 「こうほくふるさと便」については。 **町長** 現在のところ、1,800人を超える利用があった。江北町の関係人口の構築の一つの取組みとして続けていきたい。この機を新しい時代に対応する助走期間と捉え、新しくチャレンジされる事業者、起業家、農業者の方に町としてしっかり伴走していきたい。



山田町政2期目の公約を問う 「肥前山口駅」から「肥前江北駅」への 駅名改称について



井上敏文
いのうえとしふみ
議員

町長 駅名改称については、町政懇談会を開催し町民の皆さんの声を聞かせていただきたい

この2年間で、
西九州ル
トの暫定開
業によるダ
イヤ改正と
合わせて、
この2年間
で具体的に
取り組んで
いきたい。



駅名改称について議論される肥前山口駅

議員 山田町長の公約の一つに「肥前山口駅」から「肥前江北駅」への駅名改称について町民の皆さんとともに検討を進めるとある。

今後のタイムスケジュールは。

町長 2年後には町制施行70周年の節目を迎える。また、町制施行100周年も江北町として活力ある町として迎えたい。

議員 駅名を変えると費用が掛かる。駅名の改称はJRがするものであるが、町からの申し入れとなれば町が負担することになるのでは。

町長 町負担になることは認識しており、今回の補正予算で駅名改称に関する調査費を計上している。JRが新幹線暫定開業するときシステムの改修もあると思われるので、その

時期に駅名改称も取り込まれれば経費の削減が図られると思う。

議員 駅名の改称については、一部報道もさ

れているので町民も関心がある。町民からは駅名を変える必要があるのか、という声があるのも事実。民意を反映するための一つの方法として町民にアンケートを取るつもりはないか。他に民意を汲み取る手法としての考えは。

町長 公約の駅名改称については、町内賛否両論があるのは知っている。アンケートで賛成ですか反対ですかという町を2分するような取り方はよくないと思う。町民の声を聞かせていただく場として町政懇談会の開催も考えており、駅名改称についても説明をしていきたい。町制70周年の機運醸成を図る中で駅名改称も取り組みたい。

新型コロナウイルスに対する町の対応について

町長 影響があつた場合は支援をしていく

議員 新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、長期間学校を休業した。そのことに伴い、児童生徒の学業の遅れが心配されている。この遅れを取り戻すために、一部の学校ではオンライン授業で取り組まれている。本町でのオンライン授業についてどのような考えているか。

こども教育課長 将来的には必要と考えているが、現段階では教える側の体制が整っていない。今後、段階的に整備をしていきたい。

議員 玉葱、肥育牛、花農家はコロナの影響により需要が落ち込み、価格が暴落した。町においては農業所得者の他、減収が生じた営業所得者、給与所



価格が暴落した玉葱

町長 コロナについては今後、いろんなところで影響が出てくるのではないかと思う。そのような時には、これからの必要な支援策を打っていききたい。

得者にも救済措置として町独自の「元気復活応援金」を創設し、支援している。コロナについては今後、第2波、第3波が訪れるといわれているが、町長の所見を。

総務常任委員会

一般会計補正予算

問 駅名改称推進事業について、研修先は鹿児島県中央駅とのことだが。

政策課長 当初予算の旅費は職員の龍ヶ崎への視察。今回の旅費は期成会の推進委員14名の視察旅費。

問 期成会の推進委員メンバーは。

政策課長 町内の各団体に推薦を依頼したい。町長、副町長、町議会議員（2）、農業推進委員会、区長会、分館長会、老人クラブ連合会、JA佐賀、JA佐賀青年部、商工会、商工会青年部、町内企業（2）。

問 ブロック塀の除去費について詳細は。

政策課長 通学路で倒壊の危険性がある物件。国1／3、県1／6、

町1／6、受益者1／3を負担していただく。事業費は15万円。

問 情報推進費についての説明は。

政策課長 小中学校や幼児教育センターの財務会計システムの改修工事。機材の経年劣化や周辺の住宅事情に伴い通信速度や混線の改善のため。

問 コミュニティ助成事業については。

政策課長 令和3年度の申し込みを9月に案内したい。

問 庁舎の防災機能強化事業とは。

総務課長 庁舎の改修については、防災拠点機能の強化、避難性のある庁舎、執務環境の改善の3点の事業を行う。防災拠点機能の強化という点で駐車場の整備も計画している。

問 庁舎に隣接した西側の通路について、通行止め解除の予定は。

総務課長 今回の事業の中で検討する。

問 新型コロナウイルス感染症対策として購入予定のパーテーションについて、どこに配備されるのか。設営の予定の避難所は。

総務課長 設営数の多いネイブルに保管しておく。他の指定避難所にも必要数に応じて準備しておく。

問 分散避難についての考え方は。



購入予定のパーテーション



汚泥が堆積している岳地区の防火水槽

総務課長 各地区の集会所・公民館について調査し、避難可能であれば、一時避難所として利用していきたい。

問 新町地区・岳地区における消火活動円滑化事業とは。

総務課長 新町地区で新たに防火用水が確保できるようにしたことから火災時に速やかに利用できるように表示看板を設置する。また、岳地区の防火水槽内の汚泥が堆積していることから用水の機能改善のため浚渫する。

問 昨年は、区の公民館から二次避難する際、老人福祉センターが浸かって移動できない状況が発生したが。

総務課長 早目の避難をお願いしたい。状況を見て町公民館を案内したい。

問 マイナンバーカードの交付者数は。

町民課長 平成30年度で78件、令和元年度

で352件、令和2年度は2カ月間で昨年度の半数194件の申請があった。役場町民課窓口で申請手続可能。

問 今回の傷病手当金は国保連合会から70万円割り当てなのか。

福祉課長 特別調整交付金として県から入る。

問 花山球場のトイレや観客席のFRPの老朽化対応は。



新たに確保できる新町地区の防火用水

こども教育課長 2023

の国民スポーツ大会のソフトボール会場になる。トイレのリースを含め、整備していく。



補修が待たれるトイレ



観客席の老朽化が進んでいる

産業常任委員会

一般会計補正予算

問 町内全世帯に配布されるエコバッグ

の発注業者は町内業者ではないのか。また、大きなエコバッグを少量の買い物に使用しないケースもある。その対策は。

環境課長 見積もり

をお願いした業者は、町外業者。町内業者も把握している。現在検討しているエコバッグは、折り畳んでコンパクトにできる物。

問 エコバッグの

カラー、デザイン、仕様等はどう考えているか。

環境課長 仕様は、

現段階では黒、紺の二色。素材はポリエステル。試作品には、保冷機能もついている。デザインは、一番悩むところだが、みんなが使っていただけのような物にしたい。

問 危険ブロック塀

の場所とメートルはどうなっているか。



配布されるエコバッグ

建設課長

15メートル分の

の予算を計上している。場所は、現在特定してないが、今後、広報やホームページで周知を図り、申請を受けて選定する。場所は、平成30年度に区長に依頼をし、そこから抽出した39名の方に対し、補助制度について周知を行っていく。

尚、国、県の補助

制度を活用するので、避難経路沿いのブロック塀が対象となり、宅地内のブロック塀は対象外。

問 朽木排水施設の

操作員待機室の改修だが、他の施設については改修しなくてよいのか。

建設課長 城ノ井排水

施設は、朽木排水施設とほぼ同じ建物で昭和54年に建てられている、エンジン等の更新の状況を見ながら、計画していきたい。他の施設については、劣化が進めば改修を行っていく。

問 3号水路の鳴

江排水施設付近のゲートは電動化になっ



3号幹線水路末端ゲート

るが、その他はな

っていない。手動は大変なので電動化にしてほしいとの話がある。電気代は、地元負担になるなどの問題があるが、ゲートの電動化について、課題を含め検討してもらいたい。

建設課長

電動化の財

源については、灌漑排水委員会に諮る必要がある。ただ、ゲートの管理者が高齢になられていることから、今後、総合排水計画を検討する中で、ソフト面、ハード面を含めて検討していきたい。

江北町下水道事業
特別会計補正予算
(第1号)

問 駅南地区東西

線污水管渠埋設工事について、開削工と推進工で工事した場合の事業費の差額を知りたい。

環境課長

図にて説明

実施

工法	施工延長	事業費②	差引増減②—①
開削	348 m	28,300	0
推進	100m	21,343	13,243
計	448m	49,643	13,243

(施工延長の100mを開削工から推進工に変えた場合、13,243千円の増額)

当初

(単位：千円)

工法	施工延長	事業費①
開削	348 m	28,300
開削	100m	8,100
計	448m	36,400



流れ込みを防止するラップゲート



杵藤土木事務所からの説明

**総務・産業常任委員会
合同視察の実施**
◆期日：6月11日
◆場所：大町町高良川
JR 六角川鉄道橋
付近堤防（大西区）
高良川は、昨年8月の豪雨により、大西地区が冠水する被害があったのを受け、杵藤

土木事務所の担当課長から説明を受けた。
農地への流れ込みを防止するためのラップゲートを設置し、排水ポンプの稼働時間を早める対策を講じているので、今後の状況を見ていきたい。



堤防下段に準備している土嚢

JR 六角川鉄道をまたぐ45mに亘って完成堤防高が1m程低くなっている。豪雨により増水し、一部低い堤防高を超えることがある場合の対策として、堤防下段に大型土嚢が準備されていたが、豪雨時で増水をしてい

る状況下では、重機での土嚢設置ができるのか疑問であり、この様な対応は根本的な解決にはならない。視察した箇所の築堤については引き続き官庁等に強く要望していくことが必要である。



六角川に掛かるJRの鉄橋

条例改正

一、江北町国民健康保険条例及び江北町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

一、江北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び江北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全会一致で採択）

教育委員の任命

「浪瀬隆二」氏を任命

監査委員の選任

「伊東啓子」氏を選任

人権擁護委員の推薦

「王井 力」氏を推薦

農業委員会委員の任命（13名）

「千住蔵男」氏を任命

「中島吉信」氏を任命

「山中康二」氏を任命

議長交際費の公表

【議長交際費とは？】

議長が町議会を代表し、対外的活動をするために必要と認める場合に、予算の範囲内で支出する経費です。

支出にあたっては、社会通念上妥当と認められる範囲で、必要最小限になるよう努めています。

議長交際費の支出状況（4月～6月分）

項目	慶弔費
件数	1件
支出額	5,000円

合同災害警備訓練の実施

- 日時:令和2年6月29日 午前8時から
- 場所:白石町新宅の「遊水地」

豪雨災害を想定し災害対応能力の向上を図るため、白石警察署、白石・江北町消防団による合同災害整備訓練が実施された。

● 訓練内容

- ① 船外機付ボートの組み立てと使用習熟訓練。
- ② 豪雨による六角川氾濫に伴い、栈橋に取り残された要救護者の救助訓練。

江北町からは、平成30年6月に購入した6人乗りの救命用ボートを持参し、訓練に参加をした。災害に対応できるような訓練と経験が実感できたのではないかと思います。

議会からも視察をし、訓練の様子や実践を想定しての救助等は、もしもの時の備えであると認識しました。



編集後記

コロナ騒動により多くの場面で問題があったように感じている。我々議員として町民の皆様の声を真摯に受け止め、住んでいて良かったと思える町づくりに議員全員で頑張っています。

また、豪雨災害も心配するところですが大事に至らない様お互いに気配りをしながら過ごしてまいりましょう。

(二五)

議会広報委員会

委員長 池田 和幸
副委員長 三苫 紀美子

金丸 祐樹
江頭 義彦
石津 圭太